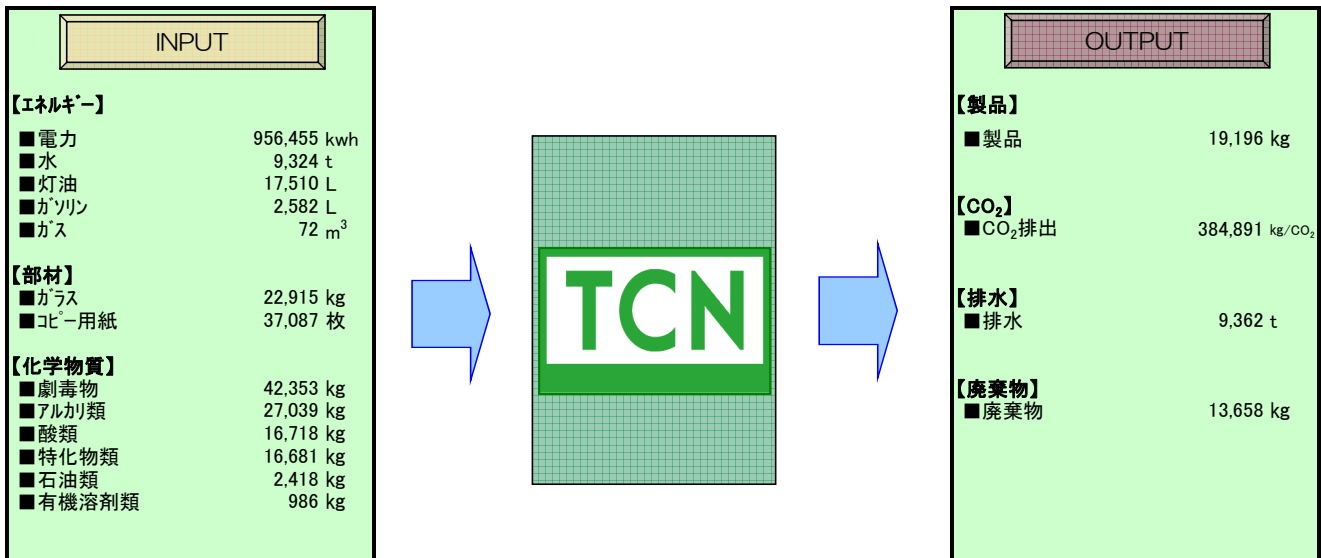
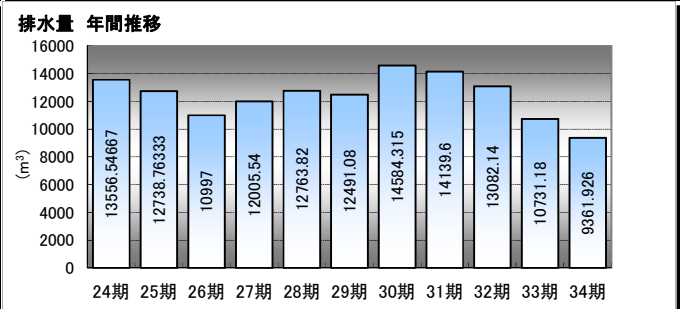
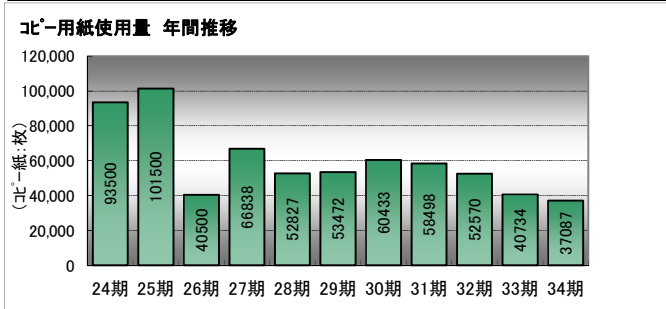
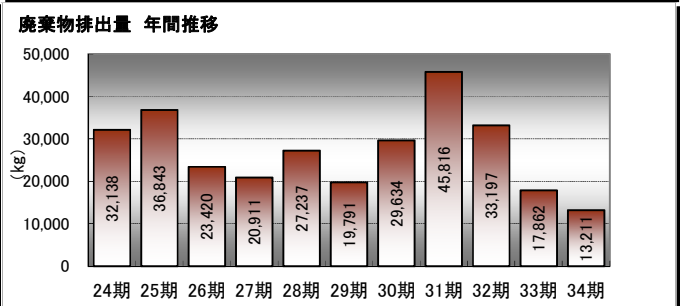
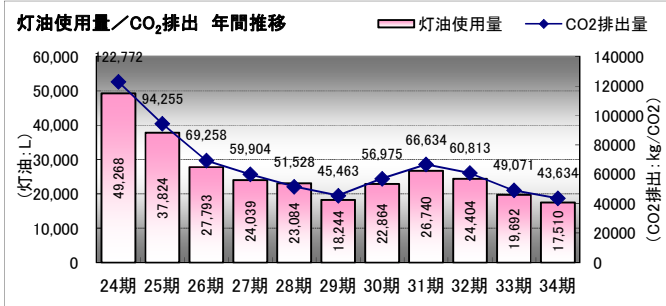
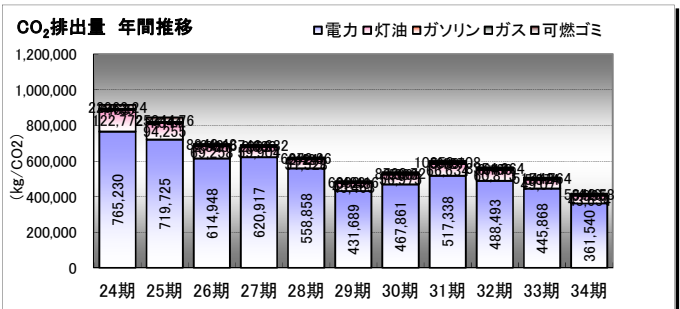
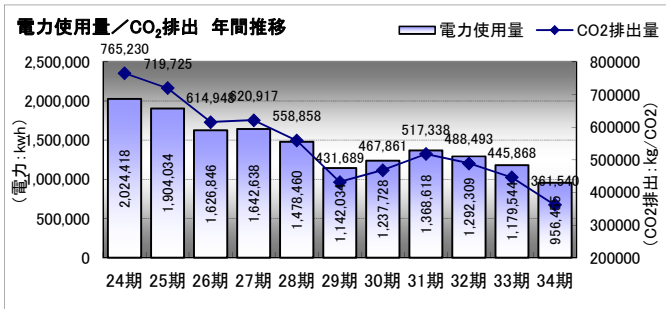


『第34期（2016年9月～2017年8月）環境負荷マテリアルバランス』



『負荷項目別 年間推移』



（削減に向けての主な活動内容）

- 1) 電力使用量：コッレクター、生産設備の運転方法・運転時間の見直しによるムダ削減。太陽光発電システムの導入。蛍光灯のLED化。等
- 2) 灯油使用量：洗浄機の運転時間見直しによるムダ削減。（洗浄機の温水用熱源）
- 3) 排水量：洗浄機の運転時間見直しによる排水量削減。
- 4) 廃棄物：資源ごみのリサイクル。歩留まりの向上。など
- 5) ビ-用紙：裏紙使用の全社的展開と電子ファィル化の推進活動による。